

評価基準書

要求仕様	評価区分		提案書記載箇所
	配点	評価の視点	
1. 社の経験・実施体制・能力			
(1)実績	50		
社として類似業務の受注実績・経験を有していること。	10	過去3年間の社の類似業務の総受注件数、および受注実績(内容・成果)(最大5件まで)が具体的に記載されている。	
本業務に有益な、過去3年以内の類似業務の実績を多く有していること。	15	本業務に有益な類似業務の受注実績があると判断できる。 ・Microsoft製品を活用したソリューションの提供業務 ・ローコード製品を活用した、アジャイル開発の業務 ※特に業務フロー改善に関する業務の有無、システム提案に関して外部ASPサービスの提案実績の有無を明記すること。 ※業務の契約期間を明記すること。	
資格・認証等	10	・以下の資格・認証を有している場合に加点する。 ・マネジメントに関する資格(ISO9001等) ・情報セキュリティに関する資格・認証(ISO27001/ISMS、プライバシーマーク等) ・Microsoft製品に関する認定パートナーなどの資格 ・女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」を受けている場合は評価する。 ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定・プラチナくるみん認定」を受けている場合は評価する。 ・若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定」を受けている場合は評価する。 ・その他、本業務に関すると思われる資格・認証	
過去3年以内の類似業務の実績のうち、官公庁及びこれに準ずる公的機関での受注実績を多く有していること。	15	官公庁及びこれに準ずる公的機関の受注実績が多くある。 ※特にデータベース整備に関する実績の有無を明記すること。	
(2)本業務の理解度、手法	105		
本業務の目的、内容、位置づけを理解していること。本業務の目的を踏まえ、実施方法・手法や成果物等を具体的に記載すること。	15	実施方法・手法や成果物等が具体的に記載されている。	
実施方法・手法や成果物等が、本業務の目的に照らして有益であること。	10	「スケジュール」 各工程について効果的かつ効率的な本業務の詳細スケジュールが策定されている。	
	25	「事業・契約管理プラットフォームの提供(保守・サポートを含む)」 ・現状把握・分析工程・要件検討・基本設計・開発等の工程において、システムが複数存在し関係部署が多く存在する点を踏まえ、効果的かつ効率的な実施方法や手法が具体的に記載されている。 ・アジャイル的な開発をベースに具体的なプロセスが示されている	
	15	「事業・契約管理プラットフォームの試験導入サポート及び作業完了報告書の提供」 試験導入において、システムが複数存在し関係部署が多く存在する点を踏まえ、効果的かつ効率的な実施方法や手法が具体的に記載されている。	
	15	「事業・契約管理プラットフォームの本格導入サポート」 本格導入サポートにおいて、システムが複数存在し関係部署が多く存在する点を踏まえ、効果的かつ効率的な実施方法や手法が具体的に記載されている。	
	15	「運用・保守」 運用・保守工程において、効率的な実施方法や手法が具体的に記載されている。	
	10	「情報セキュリティ要件」 現時点要求を含め、情報セキュリティ要件を実現できると判断できる実施方法・手法、構成等が記載されている。	

(3)実施体制		15		
	関係者の役割について理解し、適切な実施・連携・支援体制を構築し、本業務を推進すること。	5	各業務工程における実施・連携・支援体制や関係者の役割が具体的に記載されている。	
	実施・連携・支援体制、関係者の役割が、本業務の目的に照らして有益であること。	5	各業務工程における実施・連携・支援体制、関係者の役割が、本業務の目的に照らして有益であると判断できる。	
	主たる要員(業務責任者と業務従事者)とその権限及び役割が明確であること。主たる要員に変更が生じる場合のフォローアップ体制が十分であること。	5	主たる要員(業務責任者と業務従事者)とその権限及び役割が具体的に記載されている。主たる要員に変更が生じる場合のフォローアップ体制が具体的に記載されている。	
2. 業務責任者の経験・能力				
(1)経験		20		
	主たる要員(業務責任者及び業務従事者)が類似業務への従事実績・経験・成果を有していること。	10	主たる要員(業務責任者及び業務従事者)の類似業務への従事実績・経験・成果が具体的に記載されている。	
	主たる要員(業務責任者及び業務従事者)が、類似業務への従事実績・経験・成果等に基づき、本業務内容を理解し適切に遂行できること。	5	主たる要員(業務責任者及び業務従事者)が本業務内容を理解し適切に遂行できると容易に判断できること。	
	本仕様書に記載される業務の遂行にあたり、貢献できると想定される資格を有していること。	5	保有資格等が具体的に記載されており、本業務に資すると判断できる。	
(2)その他		10		
	本仕様書に記載される業務の遂行にあたり、業務責任者のこれまでの経験・実績・知見に基づき、本業務に対して貢献度が高い効果的な提案が示されていること。	10	効果的な提案が記載されている。	
技術点合計		200	以下に当てはまる場合は、不合格とします。 ・技術評価点が基準点である100点を下回る場合	